なくそう！日米軍事同盟･米軍基地 2026 年日本平和大会 in 神奈川
成功のための呼びかけ

2026 年 2 月 17 日　2026 年日本平和大会第 1 回実行委員会

私たち広範な労組・平和・民主団体でつくる、なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 日本平和大会実行委員会は、2026 年の日本平和大会を米軍・自衛隊基地、軍需工場の集中する神奈川県で 11 月 28、29 日に開催します。

日本平和大会は 1986 年から毎年秋、米軍・自衛隊基地周辺など全国各地で開かれ、戦争放棄を掲げた日本国憲法に反し、日本を米軍の出撃基地にし米国の戦争に自衛隊を動員する根源となっている日米軍事同盟（日米安保条約）をなくし、米軍基地を撤去すること、また、平和を脅かす様々な動きに反対する共同の運動を発展させ、軍事同盟や米軍基地に反対する反戦・平和の国際連帯を広げることを目指し、開催されてきました。

今年の神奈川県での大会は、屈辱的で危険な米軍基地の実態と、それと一体に戦争態勢づくりを進める自衛隊の危険な姿に触れながら、無法な米トランプ政権と高市自維政権の下で進められる、危険極まりない日米軍事同盟・基地強化、大軍拡と戦争国家づくりに反対する大運動を広げる大会として開催します。

国会審議を一切行わず、突然総選挙を強行し、自民・与党が衆議院で３分の２以上の多数議席を得た高市首相は、「政策転換をやり抜いていけと…背中を押していただいた」として、戦争国家づくりを加速しようとし、９条への自衛隊明記などの改憲発議をはじめ、▶大軍拡・生活破壊の 26 年度予算案の採決と敵地攻撃ミサイルの配備強行など全国の軍事要塞化の推進、▶「安保３文書」の前倒し改定によるＧＤＰ比５％（30 兆円）規模へのさらなる大軍拡の推進と社会保障の大改悪、▶非核三原則見直し＝核持ち込みの容認、▶殺傷武器輸出の全面解禁による「死の商人」国家づくりの推進、▶国民を監視・弾圧するスパイ防止法の制定――など、危険極まりない政策を推し進めようとしています。

ベネズエラへの侵略など国連憲章と国際法を蹂躙する無法な行動を繰り広げるトランプ米大統領が総選挙後、高市首相に「『力による平和』の成功を願う」と祝意を表したように、これはトランプ米政権の無法な戦略に積極的に応え、「台湾有事は存立危機事態」などと危機をあおりながら、米核戦力と一体に中国などを威嚇・攻撃する軍事態勢を強化するものです。それが地域の核軍拡競争を激化させ、戦争の危険を高めることは明らかです。

そしてそれは、暮らしを守り、核兵器禁止条約への参加や「互いに脅威にならない」とした日中間の合意に基づく平和・軍縮の外交努力など、憲法９条を活かした平和外交をすすめ、非核三原則を守り、軍事対軍事ではなく、平和の多国間協議の枠組みづくりなどを求める広範な市民の願いに、根本から逆行する道です。

私たちは 11 月 28, 29 日に開く神奈川県での 2026 年日本平和大会に向けて、この高市政権の大軍拡・戦争国家づくり、憲法改悪のたくらみに反対する大運動を巻き起こすことを呼びかけるものです。そして、この動きの根本にある日米軍事同盟（日米安保条約）に反対し、憲法に基づく平和外交、非核・非同盟の日本への転換を求める世論と運動を大きく広げることを呼びかけるものです。

開催地の神奈川県は、原子力空母の世界唯一の海外「母港」である横須賀で自衛隊護衛艦へのトマホークミサイルや長射程ミサイル配備が推進されているのをはじめ、南西諸島での戦争をにらんだ横浜・ノースドックへの米揚陸艇部隊の配備、厚木基地の欠陥機オスプレイ拠点基地化、座間・相模原の戦争司令部強化など、日米軍事同盟強化の重要拠点にされています。そして、これに反対する様々な市民運動が繰り広げられています。この神奈川に、全国の平和運動を持ち寄り、神奈川の運動と交流し、平和運動の新たな発展をつくり出す大会にしていこうではありませんか。この大会に、全国から青年はじめ多数の代表を送り出す準備を今から開始しましょう。